

## 句に下接する「くさい」について

### —アンケート調査に基づいた「ぽい」との比較を通して—

大上 紗弥

#### 【キーワード】

句接続、くさい、ぽい、二重推量、年代別許容度、前接する要素、接尾辞の助動詞化

#### 【要旨】

「くさい」は通常、形容詞や接尾辞として用いられるが、近年では句に接続する用法が出現・増加している。本稿では、「ぽい」と比較しつつ「句接続のくさい」の意味拡張、許容度、前接する要素の性質、使用実態などをアンケート調査の結果を基に論じる。まず、回答者による句接続の例文評価から、句接続用法の「くさい」「ぽい」ともに二重推量での使用には違和感があること、年齢層が上がるにつれて許容度が低くなることの二点を示す。次に、前接する要素について、「ぽい」は左右されないが、「くさい」はその要素がプラスの意味を持つ場合に不自然さが増すということを指摘する。句接続の用法に関して、「ぽい」は使用する人や場面が適していれば許容されるが、「くさい」は間違った日本語として捉えられていることが確認できる。最後に接尾辞の助動詞化という面で体系的に整理し、「ぽい」は助動詞として定着する手前である一方、「くさい」は年代により許容度に偏りがある未定着の用法であると結論づける。

#### 1. はじめに

「くさい」という言葉は、一般的に「くさい食べ物」のような形容詞用法と「古くさい」のような形容詞接尾辞用法とに分けられており、日本国語大辞典第二版においても形容詞と接尾の記載のみである。特に、接尾辞用法としてはV連用形、また、体現に後続する使い方が一般的とされていた。しかし、近年では下記のような「句に接続するくさい」の使われ方が見られる。(下線は筆者による。以下同様。)

- (1) ブレスレットマジでくさい食べ物、家の中探してもどこにも無い  
どっかで落とした可能性高い (twitter.com)
- (2) なんかも県道くさい事故ってるくさいな (twitter.com)

こうした、新しい句に接続する用法を本稿では「句接続のくさい」と称する。

これは、「らしい」「みたい」「ようだ」「ぼい」においても見られる、「助動詞化」の用法とみなすことができる。中でも、近年この用法が定着したのが「ぼい」であり、「句接続のくさい」を研究するうえで比較し参考にするべき語と考えられる。「句接続のぼい」の研究に比べると「句接続のくさい」に関する研究は少なく、その研究方法も文献調査に留まっている。そのため、内省的な調査を行い、「句接続のくさい」の定着度や共起する要素などについて深掘りしていく必要がある。

本稿では具体的には、成り立ちや用法に近い「句接続のぼい」と比較しつつ、アンケート調査を軸に「句接続のくさい」の使用実態を明らかにしていく。

## 2. 先行研究

「ぼい」についての先行研究は小出（2005）と岩崎（2011）、「くさい」に関する先行研究は岩崎（2016）がそれぞれ挙げられる。

小出（2005）では、「ぼい」を旧用法と新用法に分け、意味拡張の経路を整理している。小出（2005:2）によれば、「ぼい」の最も進んだ形は次の例文のような、推量を二重化することで直接的な表現を保留したものとある。

(3) 新潟で馬単 43 万円が出たらしいぼい。小出（2005:1）

句接続の用法に関しては、「ぼい」の方が「くさい」よりも浸透していると予測され、「ぼい」の最も進んだ形とされる推量を二重化して直接性を避ける用法は、「くさい」と共に用いると違和感が生じてしまうと考えられる。しかし、実際「くさい」の用法の意味拡張の到達点に関する客観的な論証は無く、調査の余地がある。

岩崎（2011）は、「ぼい」の意味用法と展開を通時的に調査・整理しており、下記の例のような用法に注目している。

(4) 最近中二になって彼女ができたぼいのにまだまだあどけない。岩崎（2011:83）

(5) どうやら明日は雨ぼい。岩崎（2011:83）

(4) や (5) の例は、名詞や形容詞が前接して人やモノの性格・性質を表すものとは異なり、ある状況を踏まえて話者の判断を表す用法で、昭和の終わり頃に成立するとされている（岩崎 2011:83）。この話者の判断や推測を表す用法には、名詞や形容詞接続のほかに、本稿の研究対象となる「句接続のぼい」も含まれている。「句接続のくさい・ぼい」どちらも、元々は無い用法であるが故、若い世代での許容度がより高いと考えられる。しかし、岩崎（2011）の結論に従えば、2019 年現在の 40 代以上でも「句接続のぼい」は許容されるのではないかという予測ができる。

岩崎（2016）では、「くさい」についての通時的な考察・分類がされており、特にも推量的判断の「くさい」に焦点を当てている。そうした判断や推量に関する用法に句接続

も含まれ、大正期・昭和期半ば・平成と長期的な出現をしていることが明らかとなっている。このことから、先述した「句接続のぼい」同様若い世代のみならず幅広い世代に認識、許容されていても疑問はないと言えよう。

先行研究の内容を基に、以下の二点に着目し調査を進めていく。

第一に、「句接続のくさい」の現段階での変遷の到達点である。まずは句に接続する用法は許容されるのか、そして、推量の二重化 (ex. ～みたいくさい、～らしいくさい) の用法まで到達しているのかを調査する。第二に、年代別にみた「句接続のくさい・ぼい」に対する許容度の差の有無である。岩崎 (2011)、岩崎 (2016) の調査結果によれば、どちらも昭和期半ばから終わり頃には成立している。この結果から 40 代以上の世代でも許容されると予想できるため、その実態を明らかにする。

以上の二点を踏まえ、具体的にはコーパスとアンケートを用いた調査をした。まず、「くさい」「ぼい」の使用実態を明らかにするために、現代日本語書き言葉均衡コーパス (以下 BCCWJ)、日本語話し言葉コーパス (以下 CSJ)、名大会話コーパス、筑波ウェブコーパスの四つを用いたコーパス調査を行った。次に日本人を対象としたアンケート調査を行った。

### 3. コーパス調査の結果と考察

BCCWJは約1億語からなる書き言葉のコーパスであり、書き言葉における用法の定着度を見るのに適している。これに対し、CSJは独話や講義などの音声を大量に収集したコーパスであるため、話し言葉における定着度を見るのが可能である。ただし、BCCWJとCSJのどちらも堅い場面での使用を基にしたデータが多いため、日常的な話し言葉が見られる名大会話コーパスやネット上での使用に注目できる筑波ウェブコーパスも併せて調査する必要があった。

BCCWJ、CSJ、名大会話コーパスに関しては、語彙素「臭い」と書字出現形「ぼい」で検索した。筑波ウェブコーパスに関しては、検索結果が共起する品詞ごとに項目分けされており、本稿では語尾として機能する「助詞」「助動詞」が後続するものを句接続用法が出現しやすいと予測し調査した。調査結果をまとめると表1の通りである。

表1 コーパス調査の結果<sup>1</sup>

	BCCWJ		CSJ		名大会話	
	くさい	ぼい	くさい	ぼい	くさい	ぼい
用例数	3,181(3,461)	5,572(5,968)	181(184)	250(255)	174(175)	201(203)
出現数	1	118	0	4	0	17
割合	0.03%	2.1%	0.0%	1.6%	0.0%	8.5%

<sup>1</sup> ( )の中の数字はゴミも含めた、検索ヒット数。出現数とは、「句接続用法」の出現数のことである。

	筑波ウェブ			
	臭い+助詞	ぼい+助詞	臭い+助動詞	ぼい+助動詞
用例数	3,429(3,596)	303(2,136)	995(1,072)	222(729)
出現数	8	20	1	1
割合	0.2%	6.6%	0.1%	2.7%

表1の数値から見てとれるよう、全体的にその出現数は少ないが、おおむね「ぼい」の方が出現数が多いということは、「句接続のくさい」よりも「句接続のぼい」の方がより定着度が高いと言える。また、BCCWJでYahoo!関連での出現が多かったことや、そのほかの「句接続」用法の使われ方を考えると、口語的な使用場面で出現する傾向が高いと言えよう。ただし、BCCWJのYahoo!知恵袋・Yahoo!ブログというジャンルは2008年のみ、名大会話コーパスは2001年～2003年とデータの収集時期にも偏りがあるため、「句接続のくさい・ぼい」の性質について結果づけることはできない。「くさい」「ぼい」の使用実態を明らかにするためには実際のアンケート調査の必要性が認められる。

#### 4. アンケート調査の結果と考察

アンケートには出題・回答・拡散のしやすさからGoogleフォームを採用し、「句接続のくさい」「句接続のぼい」それぞれ同じ様式で出題した。句接続用法の例文評価の出題に使用した例文は先行研究や実例をもとにした筆者による作例であり、「くさい」「ぼい」に前接する要素はプラスかマイナスの意味を持つ、普通体・可能形・受身形・使役形のどれかで構成されている。出題する際には、その要素がランダムに並び、「くさい」と「ぼい」それぞれのアンケートにおいて順番が同じにならないよう設定した。

##### 4-1 属性

「句接続のくさい」「句接続のぼい」それぞれのアンケート冒頭において回答者の年齢と性別を調査した。結果は表2表3の通りである。

表2 各アンケート回答者の年齢

	くさい	ぼい
10代	7(6.9%)	4(4.3%)
20代	59(57.8%)	41(44.6%)
30代	7(6.9%)	11(12.0%)
40代	9(8.8%)	11(12.0%)
50代	18(17.6%)	23(25.0%)
60代以上	2(2.0%)	2(2.2%)
計	102(100%)	92(100%)

表3 各アンケート回答者の性別

	くさい	ぼい
男	40(39.2%)	42(45.7%)
女	62(45.7%)	50(54.3%)
計	102(100%)	92(100%)

## 4-2 年代別に見た「句接続のくさい」「句接続のぼい」に対する許容度

句接続用法を用いた例文を提示し、それを回答者が五段階で評価する設問もあり、「くさい」「ぼい」それぞれの年代別回答結果は以下の図1図2のようになった。

<p>I) 全年代で否定派が多い例</p> <p>【2】 欲しかったゲーム売り切れて買えないくさい。</p> <p>【4】 明日ようやく晴れるくさい。</p> <p>【5】 修学旅行から帰ってきたら作文書かされるみたいくさい。</p> <p>【7】 あいつ、クリスマスにサプライズで彼女喜ばせるくさい。</p> <p>【8】 もう病気治ったから好きなもの食べられるくさい。</p> <p>【11】 東京で宝くじ1等が出たらしくさい。</p>
<p>II) 年代によって評価が分かれる例</p> <p>【1】 日本代表、オーストラリアに勝たたくさい。 + {20代, 30代} - {10代, 40代, 50代, 60代以上} ± {該当なし}</p> <p>【3】 仕事ぶりが良かったから次のプロジェクト任せられるくさい。 + {20代} - {10代, 30代, 40代, 50代, 60代以上} ± {該当なし}</p> <p>【6】 職場トラブってるくさい。 + {20代, 30代, 40代} - {10代, 50代} ± {60代以上}</p> <p>【9】 今日行かないと怒られるくさい。 + {10代, 20代, 40代} - {50代} ± {30代, 60代以上}</p> <p>【10】 今日の試合、阪神負けたくさい。 + {20代, 30代, 40代} - {10代, 50代} ± {60代以上}</p> <p>【12】 先生はバツとして彼に掃除をやらせるくさい。 + {30代} - {10代, 20代, 50代, 60代以上} ± {40代}</p> <p>【13】 彼氏とのデート楽しんでるくさい。 + {該当なし} - {10代, 20代, 40代, 50代, 60代} ± {30代}</p> <p>【14】 結構寒い。今日の夜、雨が降るくさい。 + {10代, 20代, 40代} - {30代, 50代, 60代以上} ± {該当なし}</p>

図1 「句接続のくさい」年代別評価結果<sup>2</sup>

<p>III) 全年代で否定派が多い例</p> <p>【1】 東京で宝くじ1等が出たらしくさい。</p>
<p>IV) 年代によって評価が分かれる例</p> <p>【1】 日本代表、オーストラリアに勝ったつまい。 + {10代, 20代, 30代, 40代} - {60代以上} ± {50代}</p> <p>【2】 欲しかったゲーム売り切れて買えないつまい。 + {10代, 20代, 30代, 40代, 60代以上} - {50代} ± {該当なし}</p> <p>【3】 仕事ぶりが良かったから次のプロジェクト任せられるつまい。 + {10代, 20代, 30代, 60代} - {50代} ± {40代}</p> <p>【4】 明日ようやく晴れるつまい。 + {10代, 20代, 30代} - {40代, 50代} ± {60代以上}</p> <p>【5】 修学旅行から帰ってきたら作文書かされるみたいつまい。 + {60代以上} - {10代, 20代, 30代, 40代, 50代} ± {該当なし}</p> <p>【6】 職場トラブってるつまい。 + {10代, 20代, 30代, 40代} - {50代} ± {60代以上}</p> <p>【7】 あいつ、クリスマスにサプライズで彼女喜ばせるつまい。 + {10代} - {20代, 40代, 50代} ± {30代, 60代以上}</p> <p>【8】 もう病気治ったから好きなもの食べられるつまい。 + {10代, 20代, 30代, 60代以上} - {40代, 50代} ± {該当なし}</p> <p>【9】 今日行かないと怒られるつまい。 + {10代, 20代, 30代} - {40代, 50代, 60代以上} ± {該当なし}</p> <p>【10】 今日の試合、阪神負けつまい。 + {10代, 20代, 30代, 40代, 60代以上} - {50代} ± {該当なし}</p> <p>【12】 先生はバツとして彼に掃除をやらせるつまい。 + {10代, 20代, 30代} - {40代, 50代, 60代以上} ± {該当なし}</p> <p>【13】 彼氏とのデート楽しんでるつまい。 + {10代, 20代, 30代, 60代以上} - {40代, 50代} ± {該当なし}</p> <p>【14】 結構寒い。今日の夜、雨が降るつまい。 + {10代, 20代, 30代, 50代} - {40代} ± {60代以上}</p>

図2 「句接続のぼい」年代別評価結果

<sup>2</sup> 肯定派は「+」、否定派は「-」、中立は「±」と表記。

まず、「句接続のくさい」に関しては最も許容度が高いのは20代、低いのは50代という結果になった。20代は全14例のうち6例において肯定派が否定派を上回ったのに対し、50代は全て否定派が多くなった。そのほかの年代において肯定派が上回った例文数は、10代が2例、30代と40代が4例と、若者ほど許容度が高まると思われたが、それに反する結果となった。

「句接続のぼい」に関しては、二重推量の例は年代関係なく許容されない。そのほかの例文については【7】を除いたすべての例で10代～30代は肯定派が多くなっている。一方、40代～60代以上は否定派か中立が多く、年齢層が上がるにつれて許容度が低くなる傾向が見られた。特に50代での肯定派は【14】のみでそのほかは否定派である。

岩崎(2011)と岩崎(2016)をもとに、幅広い年齢で許容されるのではという予測が立てられたが、「句接続のくさい・ぼい」ともに、年齢層が高いほどその許容度が低く、句接続用法は主に若年層に定着していると考えて差し支えなかろう。特に、「句接続のくさい」では年代ごとにかなりその評価にばらつきが出ていたのに対し、「句接続のぼい」は10代～30代は肯定派、40代～60代は否定派か中立という構造がほぼ確立していたため、その傾向が強いと言える。また、「句接続のくさい」に関しては、10代の許容度が低い理由となる新たな表現の有無や、20代に限られた流行的な使用なのかどうかにも注目する必要がある。ただし、今回の調査では回答者数に偏りがあるため、より大規模な調査による検証が求められる。

#### 4-3 前接する要素について

例文評価の結果を踏まえ、大きく二つの点に注目した。まず、「前接の要素がプラスかマイナスか」である。「くさい」は嫌なにおいがするという意味の形容詞ではもちろんのこと、古くさいや水くさいといった接尾辞として使われる際もマイナスの意味を持つことが多い。そのため、前接する要素がマイナスの意味を持つ例のほうが許容されやすいのではという予測を立てることができる。一方で、「ぼい」はそのような傾向はないため、意味のプラス・マイナスでどのような違いが生まれるのか、上記の予測と併せて調査する。もう一つは「動詞の態と時制」であり、その違いによって評価に差が出るのか考察する。結果と注目する二点を照らし合わせ、まとめたものが図3である。

なお、前接する要素の意味がプラスの場合は+、マイナスの場合は-が例文の後に記されている。また、動詞の形と時制も同様に記しており、未実現の意味を持つ例には\*が付け加えられている。

<p>i) 「句接続のくさい」では否定派が、「句接続のぼい」では肯定派が多い例</p> <p>【1】日本代表、オーストラリアに勝った(くさい/ぼい)。+ 普通・過去</p> <p>【2】欲しかったゲーム売り切れで買えない(くさい/ぼい)。- 可能・現在</p> <p>【3】仕事ぶりが良かったから次のプロジェクト任される(くさい/ぼい)。 + 受身・現在*</p> <p>【4】明日ようやく晴れる(くさい/ぼい)。+ 普通・現在*</p> <p>【12】先生はバツとして彼に掃除をやらせる(くさい/ぼい)。- 使役・現在*</p> <p>【13】彼氏とのデート楽しんでる(くさい/ぼい)。+ 普通・現在進行</p> <p>【14】結構寒い。今日の夜は雨が降る(くさい/ぼい)。- 普通・現在*</p> <p>ii) どちらも肯定派が多い例</p> <p>【6】職場トラブってる(くさい/ぼい)。- 普通・現在進行</p> <p>【9】今日行かないと怒られる(くさい/ぼい)。- 受身・現在*</p> <p>【10】今日の試合、阪神負けた(くさい/ぼい)。- 普通・過去</p> <p>iii) どちらも否定派が多い例</p> <p>【5】修学旅行から帰ってきたら作文書かされるみたい(くさい/ぼい)。</p> <p>【7】あいつ、クリスマスにサプライズで彼女を喜ばせる(くさい/ぼい)。 + 使役・現在*</p> <p>【8】もう病気治ったから好きなもの食べられる(くさい/ぼい)。+ 可能・現在</p> <p>【11】東京で宝くじ1等が出たらしい(くさい/ぼい)。</p>
---

図3 例文評価結果と前接する要素

#### 4-3-1 前接する要素がプラスかマイナスか

「句接続のぼい」において否定派が肯定派を上回る例は【5】【7】【8】【11】の4例である。【5】【11】については二重推量であったために否定派が多くなった。一方、【7】【8】に関しては文の長さや主語の曖昧さ<sup>3</sup>といった点から否定派が増えた。そのため、これら4例は句接続用法ではない他の部分で不自然さが感じ取られたということになる。以上の考察とそのほかの例文で肯定派が多くなっていることを踏まえると、「句接続のぼい」は前接する要素の意味によってその評価が左右されないと見えよう。

一方、「句接続のくさい」はそのほとんどの例で否定派であり、前接する要素がプラスの意味を持つ例はすべて否定派、マイナスの意味を持つ例は3例【2】【12】【14】を除いて肯定派が多くなっていた。これには、「くさい」が持つ元々の意味が深く関係していると推測する。前述したように、「くさい」は「嫌なにおいがする」「大げさである」「疑わしい」といったマイナスイメージの強い用法が元から存在している。それ故、前接する要素がプラスの意味を持っていると、「くさい」を使っているのに文はプラスの意という矛盾が生まれるため、不自然と感じる人が多かったのではないだろうか。

また、前接する要素がマイナスの意味であるにもかかわらず、否定派が多くなってし

<sup>3</sup> 【7】は主語・時・修飾・目的・動詞と文の要素が多くなったが故、文の長さが出てしまい、それが不自然さを増す結果となった。【8】は主語が自分なのか他人なのか曖昧だったため、回答に影響が出た。

まった3例【2】【12】【14】は、肯定派が多かった3例【6】【9】【10】よりも若干複雑で文章が長めであり、マイナスイメージがほかの3例よりも思い浮かびにくいがために、否定派が多かったと推測される。

#### 4-3-2 動詞の態と時制

「句接続のぼい」で否定派が多かったのは4-3-1と同じく【5】【7】【8】【11】のみであるため、動詞の体や時制によってその評価は左右されないと考えよう。

一方「くさい」は【6】【9】【10】を除いたすべての例文で否定派が多くなった。時制に関して言えば、肯定派が多かった3例は未実現【9】、現在進行形【6】、過去【10】全ての時制が含まれており、「句接続のくさい」において前接する動詞の時制に左右されないという可能性も考えられる。しかし、ほとんどが否定派になっているため、動詞の態や時制よりかはそもそもの定着度が影響していると考えの方が妥当であろう。

#### 4-4 使用実態・語感・使用場面

アンケートの最後に、「句接続のくさい」「句接続のぼい」の使用実態について、「使用するし、見聞きしたこともある」「使用したことはないが、見聞きしたことはある」「使用したことも見聞きしたこともない」の三択で出題した。結果は表4の通りである。その後、「使用するし、見聞きしたこともある」「使用したことはないが、見聞きしたことはある」の回答者それぞれに、どういった場面で「句接続用法」と接触するのかについて問うた。その結果はそれぞれ、「句接続のくさい」は表5、「句接続のぼい」は表6のような結果となった。

表4 各用法の使用実態

	使用するし、見聞きしたこともある	使用したことはないが、見聞きしたことはある	使用したことも、見聞きしたこともない	計
くさい	41(40.2%)	45(44.1%)	16(15.7%)	102(100%)
ぼい	71(77.2%)	20(21.7%)	1(1.0%)	92(100%)

表5 「句接続のくさい」の使用・見聞きの場面（複数回答可）

	友人との会話	家族との会話	目上の人との会話	インターネット上での書き込み	テレビやネット上の動画
使用するし、見聞きしたこともある	39	33	3	7	3
使用したことはないが、見聞きしたことはある	27	4	3	13	12



表6 「句接続のぼい」の使用・見聞きの場面（複数回答可）

	友人との 会話	家族との 会話	目上の人との 会話	インターネット 上での書き込み	テレビやネット 上の動画
使用するし、見聞きした こともある	69	53	8	30	25
使用したことはないが、 見聞きしたことはある	10	7	0	3	8

使用実態に関するアンケートでは、「句接続のくさい」は使用と見聞き、見聞きのみが同じ位の値だったのに対し、「句接続のぼい」は使用と見聞きが非常に多く、その定着度が明確に現れる結果となった。しかし、「句接続のくさい」も使用や見聞きが少ないわけではなく、定着の途中段階にあると考えられる。

また、アンケートの自由記述から、以下のような、回答者の「句接続のくさい・ぼい」に対する意見を得ることができ、「句接続のくさい」については、以下のような不適切な日本語と捉える意見や、使用の抵抗感・頻度の低さがうかがえる意見が見られた。

「正式なものではないイメージがある」 30代・女性・埼玉県

「改めて考えると日本語を間違っているというような感覚なので、あまり使わないようにしたいとおもった」 20代・男性・茨城県

「周囲では聞いたことが無いが知っているの、文章や漫画などからの知識かと思えます」 30代・男性・千葉県

一方、「句接続のぼい」に関しては、用法自体を否定する意見は少なく、親しげな会話や若者同士などといった条件の下では許容するという考えが多く見られた。

「親しい人同士での会話なら使うけど、目上の人と話すときやビジネスシーンでは使えない」 20代・女性・岩手県

「日本語として違和感は否めない。が、若者の友人同士での会話なら成り立つと思う」 40代・女性・埼玉県

「使ってはいけないと言われているわけではないが、あまり好んで用いようとしていない、むしろ目上の方や初対面の人の前では他の表現を使おうとするくらいの感覚を持っています」 20代・男性・千葉県

未だ違和感を覚える人は一定数いるようであるが、日本語の一言一回しとして確立していると言えるのではないだろうか。

これに対して「句接続のくさい」の許容度は低いものの、以下のような意見もあった

ため、これから使用の広がりを見せていくのではないかと推測する。

「Youtuber (東海オンエア) で使われてたのでこの使い方を知りました」 20代・女性・熊本  
「これからますます使われると思います」 40代・男性・岩手県

なお、使用場面に関しては、「句接続のくさい」「句接続のぼい」共に友人や家族との会話というフランクな場面やネットやテレビなどで使用され、目上の人との会話という堅い場面では使われない。また、「句接続のくさい」に関しては見聞きのみでネットやテレビで確認している割合が多く、これから SNS やメディアを通じて展開していくのではないだろうか。

#### 4-5 小出(2005)における「ぼい」と比較した「くさい」の意味拡張

アンケートでは、2節で紹介したような二重推量を用いた例文も出題し、小出(2005)が述べているように「ぼい」においてこの形が許容されるのか、そして「くさい」ではその許容度はどのような結果になるのかについて調査した。調査文は次の2例である。

- (6) 「修学旅行から帰ってきたら作文書かされるみたい(くさい/ぼい)」(アンケート【5】)
- (7) 「東京で宝くじ1等が出たらしい(くさい/ぼい)」(アンケート【11】)

結果は、2例とも「句接続のくさい」「句接続のぼい」両方において不自然と感じる否定派のほうが肯定派を上回った。「句接続のくさい」では、この二重推量の形だと否定派がどちらの例でも9割を超え、否定派の割合が多い上位2例となり、ほぼ許容されていないことが分かった。さらに、「句接続のぼい」に関しても、否定派が7~8割を超える結果になった。「句接続のくさい」と比較すると、「句接続のぼい」で若干肯定派が増加したものの、否定派との差は大きく、二重推量の「ぼい」の許容度もあまり高くないことが明らかになった。実際、例文評価の後の自由記述において、次のような否定的な意見が多く見られ、推量の意味を持つ語が二つ連続して使われていることに違和感を覚える人が多かったようだ。

- 「みたいとくさい、両方はいらない」 20代・女性・福岡県
- 「らしいと同時に使わないです」(くさい) 20代・男性・兵庫県
- 「推測が重複していて耳障りな印象」(くさい) 50代・男性・埼玉県
- 「らしいにっぼいはつけない」 40代・女性・埼玉県
- 「みたい+っぼい は変です」 30代・女性・石川県
- 「意味が重複してるように感じます」(ぼい) 20代。男性・滋賀県

一方、「句接続のぼい」では肯定派が1~2割ほどいるため、小出(2005)の定義は否

定できないが、その定着度はまだまだ低いだろう。加えて、この用法は「句接続のくさい」においては定着していないと見ることができよう。

### 5. 接尾辞の助動詞化について

助動詞用法としての「らしい」「ようだ」「みたい」「そうだ」はすでに体系を成しており、日本語の表現として定着していることは疑う余地はない。「ぼい」は世代間で差はあるものの、条件付きで許容されるなど、助動詞として定着しつつあると推測される。また、今回研究の主軸となった「くさい」は若者の間でのみ許容されるが、未定着の用法と言えよう。今後広がりを見せていくかどうかについては、継続的な調査が求められよう。一方、「～げ」「～み」については図4のような用法が新たに確認できる。



図4 「～げ」「～み」の実例 (Twitterより)

これらの「～げ」や「～み」は若者が新奇な表現を含むことによる一過性のものである可能性が高いと推測される。以上の内容を図示すれば、図5となる。

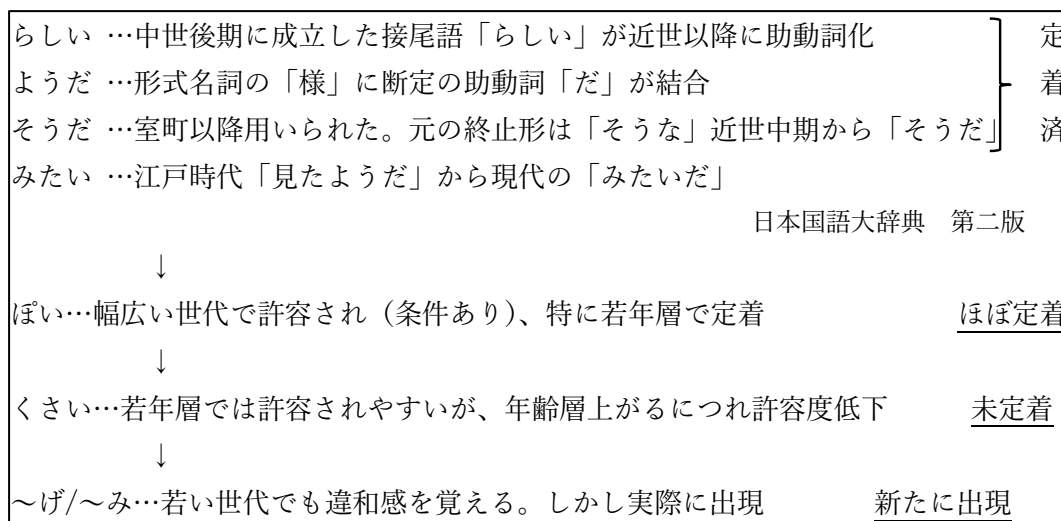


図5 接尾辞の助動詞化の展開

### 6. まとめと今後の課題

本稿では、「句接続のくさい」「句接続のぼい」の許容度・成立条件・使用実態などに焦点を当てながら調査し、結論として「ぼい」は助動詞として定着する一歩手前にあること、「くさい」は助動詞としては未定着であることを指摘した。

課題としては、まず、より大規模な調査をすることで均等な回答者数を得ることが挙げられる。それにより、4-2 節で述べたような 20 代の間で爆発的に許容されているのではといった推測も検証可能となる。次に、アンケートの様式である。不要な語や、主語の曖昧さが影響し回答者が不自然と感じた例文があったため、文をより明確にすることが求められる。また、句接続用法を使ったことはあるが、実際に読むと不自然という意見もあったため、句接続用法を含む会話モデルの聞き取りや会話文の提示といった方法を取ることを今後視野に入れる必要があるだろう。さらに、今回は筆者の作例によるアンケート調査が主軸となったが、Twitter などに出現している実例を収集・調査していくことも今後の課題としたい。

## 参考文献

- 岩崎真梨子 (2011) 「「ーぼい」の意味用法と展開」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』 31, pp.83-96, 岡山大学大学院社会文化科学研究科.
- 岩崎真梨子 (2016) 「接辞「ーくさい」の推量的判断に関する一考察」『岡大文論稿』 44, pp.60-43, 岡山大学文学部言語国語国文学会.
- 小出慶一 (2005) 「接辞「〜ぼい」の用法の広がりー「雪が降るっぼい」という表現はどのように成立したかー」『群馬県立女子大学紀要』 26, pp.1-13, 群馬県立女子大学.
- 建石始 (2018) 「類義語分析のためのチェックリスト」岩田一成 (編)『現場に役立つ日本語教育研究 6 語から始まる教材作り』 pp.45-58, くろしお出版.
- 豊田秀樹 (2015) 『紙を使わないアンケート調査入門』東京図書.
- 堀尾佳以 (2015) 『若者言葉にみられる言語変化に関する研究』九州大学博士論文.
- 山下喜代 (1995) 「形容詞接尾辞「ーぼい・ーらしい・ーくさい」について」『講座日本語教育』 30, pp.183-206, 早稲田大学日本語研究教育センター.

## 用例出典

- 「現代日本語書き言葉均衡コーパス」中納言 <https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>
- 「コーパス」大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所 (NINJAL)
- <https://www.ninjal.ac.jp/database/type/corpora/>
- 「筑波ウェブコーパス」筑波大学 日本語・日本事情遠隔教育拠点
- <http://www.intersec.tsukuba.ac.jp/~kyoten/twc.html>
- 『日本国語大辞典』第二版 小学館国語辞典編集部編 小学館 2001年.

(埼玉大学教養学部日本・アジア文化専攻課程日本文化専攻)